

情報システム案件の約7割が目的達成できない現実がある！



プロジェクト失敗の要因

内容

1. プロジェクト成功の基準

2. プロジェクト活動の失敗現象

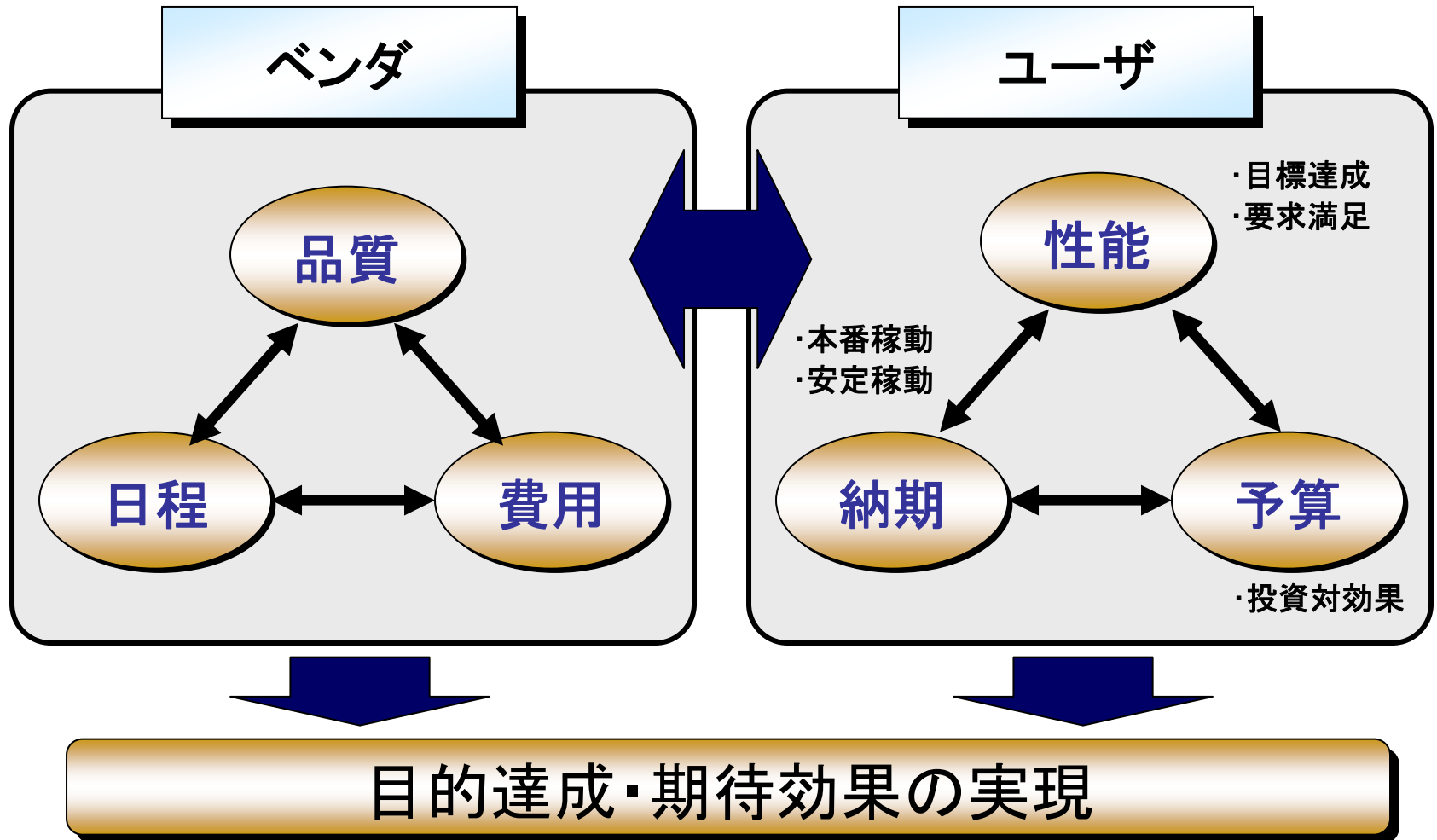
3. プロジェクト失敗の要因

4. プロジェクト失敗の背景

5. 失敗を生む原因(例)

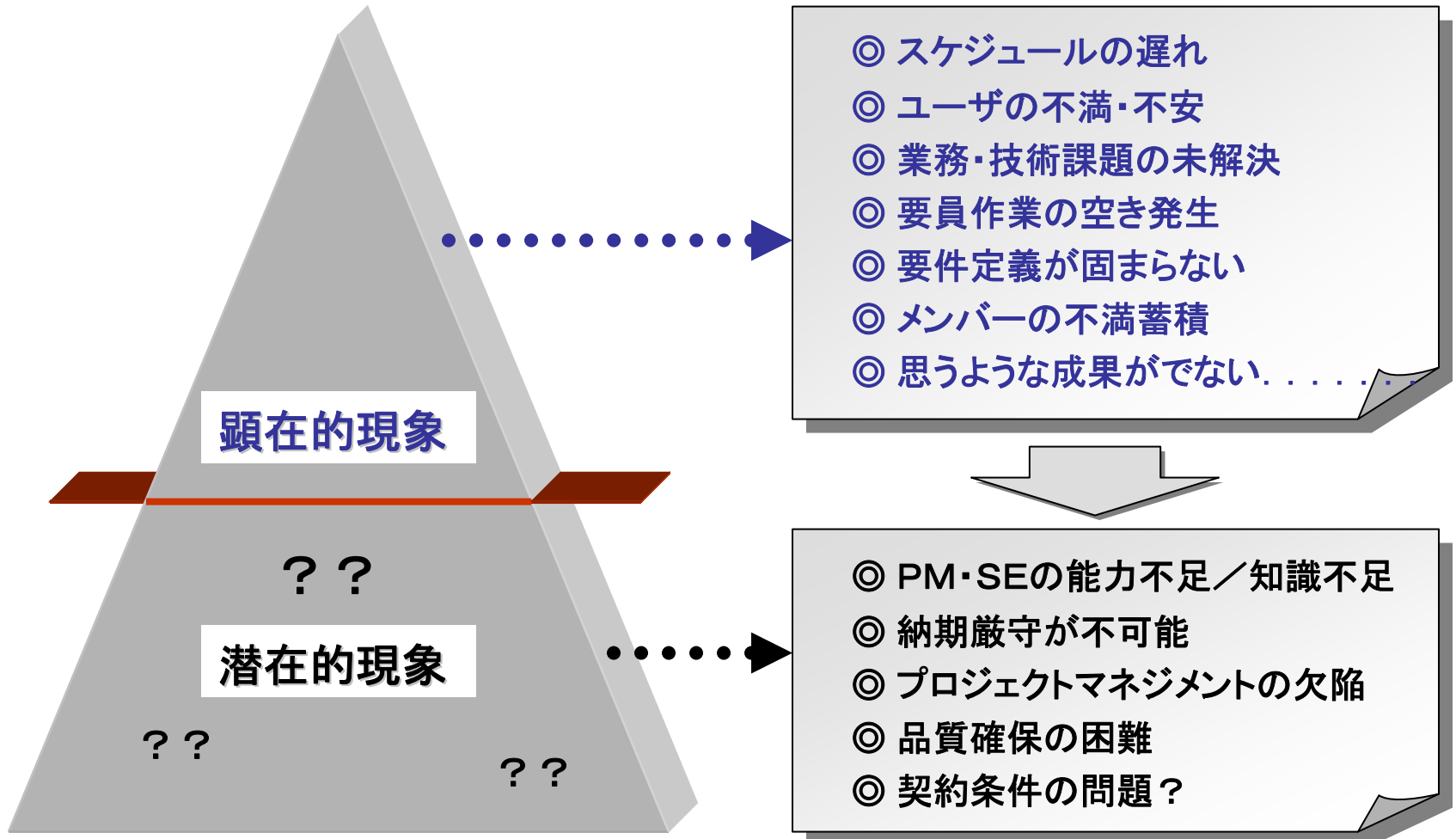
1. プロジェクト成功の基準

- ベンダ・ユーザともに、「3つの要因と目的・期待効果」の達成が、成功の評価基準である。



2. プロジェクト活動の失敗現象

- 顕在的現象が、潜在的現象のどれと関連性を持っているかの認識をもつことが必要である。そのことが、顕在化した現象の根本原因の発見と対策へと結びつく。顕在化した現象への安易な対応は、ときに傷口を広げる結果をもたらすことがある。



3. プロジェクト失敗の要因

- プロジェクトの失敗は、通常複数の要因が重なり合っ起こる。一つの失敗要因が引き金になって、他要因の弱さとともに事故が発生する。

技術系

- ・ PM・SE技術能力/経験の不足
- ・ 経営/業務知識の欠如
- ・ 上流フェーズへの甘い認識
- ・ プロジェクトマネジメントの弱体

人間系

- ・ リーダシップの弱さ
- ・ 責任感/姿勢の曖昧さ
- ・ 経験、実践の不足
- ・ チームワークの欠如

ユーザ系

- ・ システム要求の曖昧さ
- ・ 予算/体制/日程の不備
- ・ トップの参画の弱さ

4. プロジェクト失敗の背景

- ベンダにおけるプロジェクト失敗の背景は、基本的にプロジェクトマネジメントの問題に帰着する。プロジェクトマネジメントの基本力と応用力を持ったプロジェクトマネジャーが適任でない。

① プロジェクトマネジメント能力の不足

- (ベンダ/PM) 全体の状況把握力
- PMのリーダーシップ力

② プロジェクトマネジャー育成計画の不充分

- マネジャー資質と能力の整理と計画
- ベンダとしての適性人材の発掘と育成

③ 「上流フェーズ」対応への無自覚

- ベンダ/PM/SE/営業のスキル・姿勢
- ユーザ力量のクールな把握

5. 失敗を生む原因(例)

■ ベンダ

- 見積/契約のミス・漏れ・曖昧さ
- 要件定義・Fit&Gap作業への能力不足
- リーダ/メンバーの技量不足・知識不足
- プロジェクトマネジャーの力量不足
- タスクの優先度・重要性の未設定
- プロジェクト資源の予備無し

■ ユーザ

- 要求事項の変更・拡大・未整理
- 体制の不備、責任感の欠如
- 作業の優先度/相関性の未設定
- 契約条件の曖昧さ・不備
- やるべき作業の判断と提示が遅い